

## 特別講演

7月3日(土) 13:00~14:00

第1会場(4階東商ホール)

Differentiating Acute/Episodic Major Depression From Chronic Depression

座長/通訳: 大野 裕(慶應義塾大学保健管理センター)

演者: James P. McCullough, Jr., PhD  
(Department of Psychology Virginia Commonwealth University)

## シンポジウム

7月2日(金) 14:00~16:30

第1会場(4階東商ホール)

うつ病は心の風邪か?

座長: 樋口 輝彦(国立精神・神経センター武蔵病院)、野村 総一郎(防衛医科大学校精神科学講座)

シンポジスト: うつ病の予後:寛解と回復と再発

古川 壽亮

(名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野)

うつ病はくすりですぐに治るのか?

染矢 俊幸

(新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野)

精神療法からみたうつ病の経過

中村 敬(東京慈恵会医科大学第三病院精神神経科)

「うつ病の時代」を再考する

田島 治(杏林大学保健学部精神保健学教室)

指定討論:

北村 俊則(熊本大学医学部神経精神医学講座)

## セミナー1

7月3日(土) 14:00~15:30

第1会場(4階東商ホール)

うつ病類似の状態について:その鑑別と対応

座長: 前久保 邦昭(前久保クリニック)

演者: 山田 和夫(東洋英和女学院大学人間科学部・横浜クリニック)

## セミナー2

7月3日(土) 14:00~15:30

第2会場(7階国際会議場)

現場で役立つ「うつ病」にたいする精神療法 — 3-step approachについて —

座長: 坂野 雄二(北海道医療大学心理科学部)

演者: 鍋田 恭孝(大正大学人間学部人間福祉学科臨床心理学)

## セミナー3

7月3日(土) 15:30~17:00

第2会場(7階国際会議場)

職場のメンタルヘルス — うつ病対策の実際 —

座長: 島 悟(東京経済大学経営学部)

演者: 山本 晴義(横浜労災病院勤労者メンタルヘルスセンター)

## 講習会

7月3日(土) 14:00~15:00

第3会場(4階特別会議室AB)

### 新しいうつ病評価尺度 MADRS講習会

座長: 神庭 重信(九州大学医学研究院精神病態医学分野)

演者: 稲田 俊也(名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野・精神生物学分野)

## ランチョンセミナー1

7月2日(金) 12:00~13:00

第2会場(7階国際会議場)

### うつ病とその併存疾患の治療戦略 — 社会不安障害を中心に —

座長: 小山 司(北海道大学大学院医学研究科神経機能学講座精神医学分野)

演者: 笠原 敏彦(国立国際医療センター精神科)

共催: 藤沢薬品工業株式会社・明治製菓株式会社

## ランチョンセミナー2

7月3日(土) 12:00~13:00

第2会場(7階国際会議場)

### うつ状態・うつ病の早期発見と治療 — 復職を円滑にするために —

座長: 上島 国利(昭和大学医学部精神医学講座)

演者: 中村 純(産業医科大学精神医学教室)

共催: 旭化成ファーマ株式会社・ヤンセンファーマ株式会社

## イブニングセミナー

7月2日(金) 16:30~17:30

第1会場(4階東商ホール)

### 自殺予防のためのうつ病の早期介入

座長: 久保木 富房(東京大学大学院医学系研究科ストレス防御・心身医学)

演者: 大野 裕(慶應義塾大学保健管理センター)

共催: グラクソ・スミスクライン株式会社

# 市民公開講座

7月3日(土) 16:00~18:00

第1会場(4階東商ホール)

家族がうつ病になったとき—どう接したらいいのか

## 〈プログラム〉

### はじめに うつ病治療の基礎知識

上島 国利(昭和大学医学部精神医学講座)

### 講演 1 うつは本当に励ましてはいけないのか～体験者の立場から

藤臣 柊子氏(漫画家)

### 講演 2 家族が燃えつきないために～支援グループの立場から

山口 律子(MDA(うつ・気分障害協会))

### 講演 3 自殺防止のために家族ができること～精神科医の立場から

徳永 雄一郎(不知火病院)

主 催: 日本うつ病学会

後 援: 日本精神神経学会

日本臨床精神神経薬理学会

社会経済生産性本部メンタル・ヘルス研究所

(社)日本産業カウンセラー協会

協 力: 朝日新聞社広告局

協 賛: 塩野義製薬株式会社

## —お断り—

この市民公開講座は第1回日本うつ病学会総会参加者と一般市民の方を対象にしております。一般市民の方に対しては、5月下旬と6月上旬に朝日新聞紙上におきまして市民公開講座の告知および参加者募集広告を掲載し、応募された方の中から抽選を行い、当選された方に参加していただくこととなります。

第1回日本うつ病学会総会のプログラムのひとつでもあります。一般市民の方を優先し、第1回日本うつ病学会総会参加者の方には恐縮ですが、入場を100名様までに限定させていただきます。

総会開催初日の7月2日より、総合受付にて市民公開講座参加希望の方を先着100名まで受付いたします。参加希望者が100名を越えた場合にはご参加いただくことができなくなります。予めご了承くださいませようお願い申し上げます。